

拠出金名: 国際連合軍縮会議等拠出金

国際機関等名	国連軍縮部アジア太平洋平和軍縮センター (英文名称・略称) UN Regional Centre for Peace and Disarmament in Asia and the Pacific (RCPD)				
種 別	☒ 国連(事務局) ☐ 国連(基金・計画) ☐ 国連専門機関 ☐ その他				
所管官庁担当局課名	外務省軍縮不拡散・科学部軍備管理軍縮課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成22年度	6,659	71		1 米ドル= 94円	0
平成21年度	8,286	80		1 米ドル= 103円	0
平成20年度	8,696	77		1 米ドル= 113円	0
当該拠出金の目的・用途等	毎年、我が国地方都市において開催されている国連軍縮会議の開催経費のための拠出				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2010年のもの)				国際機関等の財政 (2010年度決算)	
	国 名	金額 (千ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入 868,054米ドル	
1位	ネパール	90	30.0	当該年度の支出 231,976米ドル	
2位	日本	71	24.0	次年度への繰越 636,078米ドル	
3位	スイス	67	22.0	会計検査機関名	
4位	中国	50	17.0	国連会計検査委員会 (UN Board of Auditors)	
5位	カザフスタン	10	3.0	(現在の構成員の出身国: 南ア、英、中)	
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
当該機関が主催する国連軍縮会議は、我が国が軍備管理・軍縮問題に対する積極姿勢を示す格好の場であり、アジア太平洋諸国を中心とする参加国間の対話と信頼醸成に重要な役割を担っている。また、本件会議は唯一の被爆国として軍縮に熱心に取り組んでいる我が国政府、国会、マスコミ、民間関係者にとって重要な意見表明の場である。2010年松本会議では開催地の高校生と天野IAEA事務局長はじめ軍縮・不拡散分野の専門家との交流イベントを通じ、次世代を担う若者に対し、軍縮問題について自ら考え、理解を深める機会を提供するとともに、我が国の軍縮・不拡散教育に対する積極姿勢を国内外に効果的に示すことができた。					
邦人職員数 うち幹部以上	0 人 うち 0 人		当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	0 人 0%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
本年秋以降に、2011年度JPO派遣候補者選考試験の合格者から荊尾遙氏(現: 在オランダ大化学兵器禁止機関日本政府常駐代表代理で専門調査員として勤務)を当センターへ派遣予定(UNRCPDのP2ポスト)。なお、派遣者については、JPO任期終了後に国連軍縮部等において主要ポストの獲得を視野に入れている。					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。